



# 2018年9月期 第3四半期決算説明資料 株式会社チェンジ

証券コード3962



CHANGE  
PEOPLE, BUSINESS, JAPAN

# 2018年9月期 第3四半期決算報告

業績見通し

ハイライト

# 2018年9月期 第3四半期ハイライト

## 増収増益 の達成

## 計画を上回る 事業進捗

2018年9月期 第3四半期累計

対前年同期比

売上高

**1,861百万円**

(対前年: +301百万円)

**約1.19倍**

営業利益

**366百万円**

(対前年: +43百万円)

**約1.14倍**






- ☑ 増収増益基調で、売上・営業利益ともに過去最高水準を達成（第3四半期累計）
- ☑ 東京証券取引所市場第一部への市場変更に伴うコストを吸収した上で、高い利益水準を維持

# 2018年9月期 第3四半期 損益計算書

☑ 極めて好調に推移し、大幅な増収増益を達成

☑ 第3四半期累計

売上高 : 1,861百万円 対前年比 約**1.19倍** (301百万円増)  
 営業利益 : 366百万円 対前年比 約**1.14倍** (43百万円増)

(単位：百万円)	2017年9月 第3四半期累計		2018年9月 第3四半期累計			
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減%
売上高	1,560	100.0%	<b>1,861</b>	100.0%	<b>301</b>	<b>+19.3%</b> 
売上原価	896	57.5%	<b>1,144</b>	61.5%	<b>248</b>	<b>+27.7%</b>
売上総利益	663	42.5%	<b>717</b>	38.5%	<b>53</b>	<b>+8.0%</b> 
販売費及び一般管理費	340	21.8%	<b>350</b>	18.8%	<b>9</b>	<b>+2.8%</b>
営業利益	322	20.7%	<b>366</b>	19.7%	<b>43</b>	<b>+13.5%</b> 
経常利益	317	20.4%	<b>367</b>	19.7%	<b>49</b>	<b>+15.5%</b> 
当期純利益	213	13.7%	<b>247</b>	13.3%	<b>33</b>	<b>+15.7%</b> 





2018年9月期 第3四半期決算報告

**業績見通し**

ハイライト

# 業績予想の上方修正（2018年8月8日発表）

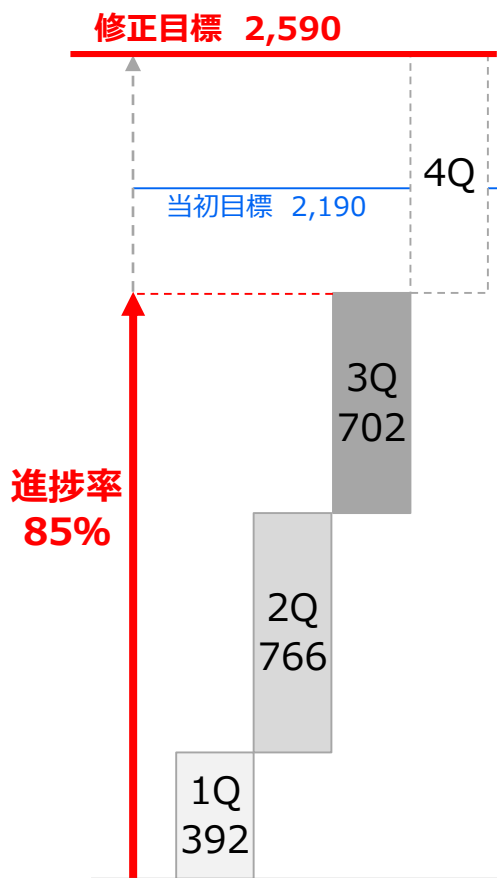
- ☑ 2018年9月期 第3四半期までの好調な業績を踏まえ、今年度の通期個別業績予想を上方修正

	当初業績目標 (2017年11月14日発表)	第1回修正目標 (2018年4月16日発表)	第2回修正目標 (2018年8月8日発表)	増減額 (第1回と第2回修正の増減)
売上高	2,190	2,350	2,590	+240 
営業利益	360	402	500	+98 
経常利益	359	401	501	+99 
当期純利益	242	270	338	+67 

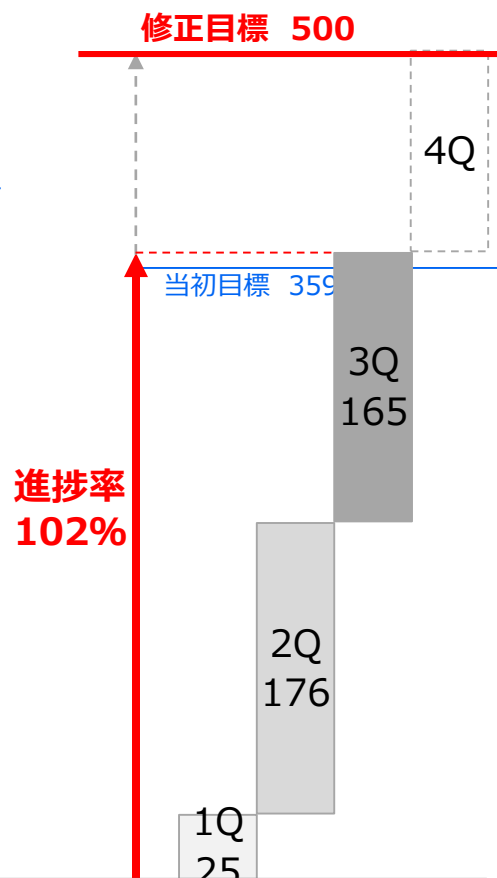
# 業績予想の上方修正の主たる要因

☑ 新規事業のスピーディーな立ち上がりによる事業の伸長が主要因

## 売上高進捗



## 営業利益進捗



## 上方修正の主たる要因

新規事業のスピーディーな立ち上がりによる業績成長が主要因

投資事業、IPOアクセラレーションプログラム

AI人材・データサイエンティスト等の高度人材育成事業

AIスピーカーを軸とした、音声インターフェイス関連事業

(単位:百万円)

2018年9月期 第3四半期決算報告

業績見通し

**ハイライト**



# 第3四半期のハイライト（1/4）

## 東京証券取引所 市場第一部への 市場変更

- **更なる事業拡大に向けた基盤づくりのため、東京証券取引所市場第一部への市場変更を実施（2018年9月3日予定）**
  - ✓ 株主数増加・投資への魅力向上を目的に株主優待制度を新設（2018年6月14日発表）
  - ✓ 市場変更に向けた株主数の不足分充足・流動性確保に向けて、立会外分売を実施（2018年8月30日～2018年9月5日（予定））

## さらなる事業成 長につながる取 組に注力

- **NEW-ITトランスフォーメーションの各サービス及び新サービスの成長に向けた重点取組を展開（詳細次ページ）**
  - ① 投資事業のスピーディーな立上げ・収益化
  - ② AIスピーカーを軸とした音声インターフェイス関連事業の市場拡大・アライアンス強化
  - ③ “働き方改革”関連商材を順次リリース

# 第3四半期のハイライト（2/4）

## 投資事業のスピーディーな 立上げ・収益化

- エコシステム拡充に資する事業者への投資事業を本格的に開始。IPOアクセラレーションプログラムも順調に進展し、投資先の新規上場第1号案件が誕生。

## 成長戦略の一翼として投資事業を開始

- 当社の成長戦略に関連する企業等へ投資を行い、事業上のシナジー創出を発揮するとともに、投資先のバリューアップを通じた投資リターンを獲得
- 既に展開しているIPOアクセラレーションプログラムを正式に投資事業と位置付け、M&Aを加速させるための財務体質強化につなげる

## (株)GA technologiesの東京証券取引所マザーズ上場

- AIを活用したリノベーションアプリや、カジュアル不動産投資アプリ、AIを活用した不動産業務支援ツール等を提供する(株)GA technologiesが東京証券取引所マザーズに上場
- IPOアクセラレーションプログラムによる新規上場の第1号案件

## AI CROSS(株)への出資

- AIベースビジネスチャットソリューション、法人向け双方向SMS等、B2Bモバイルソリューションサービスを提供するAI CROSS(株)（旧社名AOSモバイル(株)）へ出資
- パブリックセクター向けのサービス・ライブラリ開発を通じ、業務効率化サービスを共同で推進予定

## (株)Phone Appli株式を譲渡

- IPOアクセラレーションプログラムによる投資先である(株)Phone Appliの保有全株式を、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)に譲渡することを決定

# 第3四半期のハイライト（3/4）

## AIスピーカーを軸とした 音声インターフェイス関連事業の 市場拡大・アライアンス強化

- 市場成長期を前に、プラットフォームの拡張、アライアンスの強化を進め、企業の生産性向上に資する音声ユースケースの開発・汎用ソリューションの展開を推進

### 三井物産(株)との新会社立上げ、シニア向けAIスピーカー音声サービスを提供

- 三井物産(株)の社内起業制度の第1号案件として合併会社を立上げ。シニア世代向けのAIスピーカーを活用した音声サービスを提供し家族や地域コミュニティとのつながりをサポートする事業を開始
- 弊社最重点テーマの1つであるAIスピーカーの今後の市場成長期を前に、ユースケースを拡張中

### LINE(株)の“Clova Extensions Kit”初期パートナーとして参画

- LINE Clovaをインターフェイスとして、RESAS-API（地域経済分析システム）を活用したスキル「Clovaで地価調査」を開発・提供開始
- これまでに取組んでいるAmazon Alexaに加えて、Line Clova、Google Home、さらにHimalayaなど、あらゆるプラットフォームに関する技術開発を進める方針

### (株)阪急阪神百貨店向けにAIスピーカーを活用した店内案内サービスの実証実験を開始

- 阪急うめだ本店において、お客様による店舗の問合せに対して、AIスピーカーにより売場情報を案内すると同時にモニターにマップを表示
- ビジネスにおける音声インターフェイス活用の先進的な事例として実証実験を進めつつ、これまでに培ったモバイルアプリ開発/タブレット導入支援のノウハウも活用し、汎用性の高いソリューション開発を進める

# 第3四半期のハイライト（4/4）

## “働き方改革”関連 サービスを順次リリース

- 働き方改革に向けて先進的な取組を進めている顧客企業・アライアンスパートナーとの連携を深め、NEW-IT×人材育成による働き方改革サービスをさらに拡充

### 働き方改革プログラムをヤフー(株)に提供

- 働き方改革の先進企業であるヤフー(株)において、会議の生産性向上を目的としたワークショップを実施。働き方改革推進部門を中心に、会議全般にわたる抜本的な見直しを継続的に推進
- 単発の取り組みで終わることなく持続性のある改革施策とするために、ワークショップによる生産性向上効果の測定をあわせて実施

### (株)テレビ東京と協業した企業向け働き方改革ワークショップを提供開始

- (株)テレビ東京の経済報道番組（WBS（ワールドビジネスサテライト）、ガイアの夜明け、カンブリア宮殿等）の放送内容とリンクした、先進企業の成功事例に基づく働き方改革のワークショップを提供開始
- 当社がこれまでに培った育成ノウハウ、ITを活用した働き方改革の実績/事例を、(株)テレビ東京のコンテンツと融合させることにより、さらに効果的な人材・組織変革のプログラムを実現

### 教育アプリ“Change Up”を内定者・新入社員向けにさらに拡張

- 生産性向上・働き方改革の根幹にあたる“人のパフォーマンス”を高めるためのサービスとして、既に展開しているChangeUpに新たに25コンテンツを追加し、新入社員・内定者向けのトレーニングを充実化
- デジタルネイティブ世代が企業の新入社員・内定者として活躍を始める環境において、より学びやすい・活かしやすい学習環境をモバイルにより実現し、内定者～新入社員の成長をサポート